センター方式シートの全体構成

領域	領域のねらい（アセスメントのポイント）
A 基本情報	本人の基本事項や自立度等の経過を把握し、「現在の本人の位置」を確認することを通して、「現在と今後の暮らしのあり方（方針）」を探ります。あわせて、本人をとりまく療養と支援のための資源の全体と過不足を明らかにします。
B 暮らしの情報	自分らしく暮らしていくうえで最も大切な「暮らし方」と「環境」に関する情報を過去から現在にわたって集約し、本人がよりよく暮らしていくための課題を明らかにします。
C 心身の情報	今、本人が苦しんでいる心身の状態の全体像を客観的に集約し、個々の状態の関連を探ります。あわせて、そうした心身の状態をもちながら本人がどのような姿と気持ちで今を過ごし、「何を求めているか」を把握し、本人がよりよく暮らすための課題を、利用者本位の視点に立ち返って探ります。
D 焦点情報	焦点を絞って本人のありのままの状態を詳細に把握し、本人が自らの力を活かして自分らしく暮らしていくための課題を明らかにします。

E 24時間アセスメントまとめシート（ケアプラン導入シート）

A～Dで明らかになった課題を、本人の暮らしの流れ（24時間、その他）に沿って整理し、本人にとっての優先課題とケアの具体的内容を明らかにします。（ケアプランに活かせます）

私の願いや支援してほしいこと	私の注目してほしい行動／状態	原因・背景	私がよりよく暮らせるためのケアのアイデア・工夫

介護サービス計画書（ケアプラン）第1表	利用者および家族の生活に対する意向	総合的な援助の方針

介護サービス計画書（ケアプラン）第2表	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	援助目標		援助内容
		長期目標	短期目標	サービス内容・サービス種別/担当者・頻度・期間